

総合運動公園計画の白紙撤回は

町 当分の間、先送り

問 町長は初当選以来、熱い思いで那須町の一人一

スポーツ公約を実現するため、調査研究等をされてきた。

しかし、人口減少問題や、東日本大震災、東京オリンピック

の開催等利用人口の減少や整備に当たつての資材、人件

費の高騰など莫大なコストがかかる。概算事業費として

76億5000万という高額となり、当面、建設については先

送りするとの考えであるが、計画を白紙撤回、基金の取り

崩しは。

町長 当初、建設費は、上限でも約50億円の概算であつた。色々な理由から75

億円を超過する巨額な総事業費となり、建設費がさらに膨

れ上がることは予測がつく

わけで、ますます町独自の財政負担が大きくなる。後

年に負担を残すことになり、当分の間これを先送りせざるを得ない状況になつてき

た。全く白紙に戻すことではない。

友愛の森整備計画の方針は

町 施設のみならず運営が重要である

問 友愛の森は整備計画中であるが、東山道の

駅と対比して入り込み数が1.68倍、収益においては1.08倍、

直売所のみで比較すると販売額は0.85倍となっている。

単純には比較できないが、発展の余地は残されている。

今後の整備の中で情報センターを核に、例えばATM

や郵便局、コンビニなど必要ではないか。地域振興の

ための優遇措置はあるが、友愛の森を事業として独立

を目指す計画をしなければならぬと考える。方針は。

観光商工課長 友愛の森に

おける収益は、町に26年度1027万円の収入があつた。これから友愛の森を再

整備していくためには、施設のみならず、運営が非常に重要である。計画を進め

る中で今後の運営、使用料の見直し、再構築等の検討

をする。



再整備が望まれる道の駅「那須高原友愛の森」



今後どうなる中央運動公園